



発行：社会福祉法人 児童養護施設 埼玉育児院  
〒350-1175 埼玉県川越市大字笠幡 4904-1  
発行責任者：藤井美憲 編集：埼玉育児院広報委員会

Tel 049-231-2107  
Fax 049-231-2111

## 2023 春の旅立ち

今年度は、5名の子どもたちが育児院を卒院します。将来への期待と不安でいっぱいだと思います。思い出を振り返ると職員もさみしい気持ちはありますが、心から応援しています。素敵な新生活を！  
卒院生から&職員からのメッセージです。

男児 専門学校進学

大げなことが一番楽しかった。  
初エピソードが思い出です。  
卒院してからこの瞬間が一番  
楽しかった。今までありがとう。  
と泣いていました。

♡♡卒院おめでとう！  
やりいことが明確にある  
Rくん。たくさん学んで色々な  
経験を積んで夢を叶えて下さい。  
応援しています！

職員より

女児 専門学校進学



夢に向かって  
一日一日を大切に  
頑張ってください!!  
3食しっかりご飯を食べて

職員より

女児 就職

冬レクのスノボが  
楽しかった

スノボはほんと  
すばり。おもしろい  
思い出です😊

職員より

卒業してから頑張りたいことは、  
おかし作りをがんばりたいです。  
沢山、実習でやったことをいして  
夢に向かってがんばります

女児 就職

Mちゃん就職おめでとう!!  
自分のために夢を自分の手  
で囲み、夢に向かって頑張  
る姿がとってもかっこいいよ!  
ずっとずっと応援しているよ!

職員より

女児 就職

一番楽しかった思い出は自分の誕生日会  
です。毎年その日だけ自分の好きなものを  
食べられたのでプレゼントも毎年いろいろ  
あげてもらっています。

Yちゃん卒業おめでとう!!  
小さく可愛かった Yが、こんなに大き  
く女流に育って、その成長をたくさん  
職員が見ていたよ。Yの新しい  
出発をみんなで応援して  
いきます。

職員より

# 「新年度に向けて」

施設長 藤井美憲

創立 110 周年を迎えた今年度もあっという間に 3 月を迎えました。埼玉育児院では、新しい年度に向かう準備を進めています。

令和 5 年度は、今年度に引き続き地域小規模児童養護施設「かさはたホーム」を新たに開設することになりました。埼玉育児院と笠幡駅の間にある広い一軒家を借りて、4 月 1 日より子どもの定員 6 名の新しい地域小規模児童養護施設となります。

この分園の開設で、埼玉育児院は 4 箇所地域小規模児童養護施設を運営する施設となります。毎年のように増やしてきているのは、厚生労働省雇用均等・児童家庭局から出された「児童養護施設等のケア形態の小規模化の推進について」の内容に従えるようにするためです。

そこには、「小規模グループケア実施要綱」が定められており、ひとつのグループケアは、“子どもが 6 人”となっています。ただし、従前は 8 人だったところは、令和 7 年 3 月 31 日までの間は 8 人のままでも良いことになっています。

埼玉育児院は、今まで小規模グループケアの定員を 8 人で構成してきたため、あと 2 年で 2 名ずつ減らすことが必要になるということです。そのため、計画的に地域小規模児童養護施設を開設して、本院の人数を減らすことが必要になりました。

今年度のはじめには、「たかしなホーム」を開設しました。そこで、4 人の子どもが本院から移動し、本院の子どもの定員は 50 名、分園の子どもの定員は 16 名になりました。今回の「かさはたホーム」の開設で 6 人が分園に移動することになります。そうすると、本院の子どもの定員は 44 名、分園の子どもの定員は、22 名になります。合わせて 66 名の人数は変わりません。

本院にある生活するための家屋は 6 軒。すべてを 6 名以下のグループにするには本院の定員を 36 人にしなければならず、もう 1 箇所の分園を開設する必要があります。令和 7 年 3 月までには、開設できるように進めていきます。

国の制度面のお話は、ちょっと難しいですね。まとめると、新しい分園がもう 1 箇所増えますということです。そして、子どもたちが安全に安心して暮らせるように生活の見直しも進めています。子どもと職員との信頼関係も工夫と努力で安定したものになることを願っています。

かさはたホームの様子



洋間に改装



広いバルコ

## 2021(R3) 以前

松本ホーム・原田ホーム  
6 名定員  
GH2 カ所

本体施設 定員 54 名



6~8人グループ 7棟

## 2022(R4) 今年

たかしなホーム開設  
4~6 名定員  
GH3 カ所

本体施設 定員 50 名



6~8人グループ 6棟

## 2022(R5) 来年度

かさはたホーム開設  
4~6 名定員  
GH4 カ所

本体施設 定員 44 名



6~8人グループ 6棟

《構想》2025(令7)  
2年後までに

もう1軒 開設  
4~6 名定員  
GH5 カ所

本体施設 定員 38 名



6人グループ 6棟

コロナ禍だからこそ、  
会いたい人が  
増えた1年  
でした!

新しい子ども達  
新しい大人で  
1つのチームに  
なれたいと目標に!

宿泊レクに行けたし、  
コロナでの制限が減り、  
充実した1年でした!!



今年もコロナに  
負けず、健康第一に  
頑張りました。  
あ、という間の  
1年でした。

コロナに  
奮闘弄さいに  
1年でした。

年末年始に  
やりたかったことを  
考え抜いたので  
初めて40℃の熱が出た。

普段は「子どもの声」ですが、今回だけ

# 特別編 職員の声

今年度が終わろうとしています。今年度は、新型コロナの大きな波が直撃し、施設の内外に陽性・濃厚接触者が次々に発生。その度、勤務変更、フォロー＆フォローとみんなで協力しながらなんとか乗り越えることができました。同時に、慢性的なマンパワー不足の中で、小規模グループケアへの移行と子育ての現場に副った「働き方改革」を進めるという無理難題(?)に取り組む埼玉育児院の職員たち。『どんな1年だったか』聞きました!

三皮剥刺万火は  
1年でした。



17レクが再開  
され、学校生活も  
子どもを見に行けること  
が、何より嬉しいですね!

今年度は色々な事を  
考えさせられた1年でした。  
コロナに負けず挑戦したい  
事が沢山です。子どもと  
キャンプや登山がしたい!



喫茶がしゅる子  
OPEN!  
新年度も来訪者  
お帰りにしてあげよう

あ、という間の1年でした。  
山あり谷あり...  
子どもの笑顔とたくさん  
出会えた日々でした。  
来年もがんばります!!



コロナも緩和されてきて  
スリッパに子どもたちと  
おまのレクに行くことが  
できて、嬉しかったです!  
子どもも楽しんでいました!

110周年を祝う会に  
たくさん卒業生が  
来てくれたこと、  
本当に嬉しかったです。



子どもを  
方旅行に  
つれていくことが  
できたので、  
嬉しかったです。



長いコロナ禍と物価  
上昇働き方改革で効率  
化が進められる中での  
レジャー対策等、110周年  
の1年としての進捗状況を  
向上させていこう

坐骨神経痛に  
ドライアイと言う名の  
老眼?!  
身体の衰えを感じる  
1年でした。

これまで、自分の  
趣味を見つけようと  
していましたが、  
ようやく見つけ  
ました。

子どもたちから  
沢山学ぶことが  
できた1年でした。  
来年もがんばります  
😊

とらなりに  
忙しい1年だった  
でも、行事の準備  
は久しぶりでいろいろ  
楽しかった!!

# 第三者評価

社会的養護の施設については、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」に基づき、その運営の質の向上を図るため、第三者評価及び自己評価の実施とそれらの結果の公表が義務づけられています。

(厚生労働省ホームページより)

3年に1度の第三者評価を実施しました。

育児院は、より多角的な視点から客観的な評価を得るために、毎回異なる評価機関で実施しています。

【第三者評価機関】 株式会社地域計画連合

【第三者評価結果】 以下抜粋

- ・施設の特徴的な取り組み: 一時保護事業、ボランティアの受け入れ(R3 年度実績 117人)
- ・総評: (良い点) 歴史が育んだ、子どもに寄り添う姿勢が、社会からの新しい要請にも十分に応えうるものとなるよう、新施設長のもと、様々な変化を受け入れ、施設運営の基盤の再整理と、着実に前進させる仕組みづくりに取り組んでいる。

(改善点) 子どもの最善の利益のために、職員の定着、業務負担の軽減、全職員の育成確保の好循環構築が求められる。そのため、支援業務の再整理と計画化を行い、PCDA サイクルを施設運営の様々なところに広げていくことを期待する。また、職員像を実現するステップとして、キャリアパスの明確化を求めたい。

評価結果は「全国社会福祉協議会」のホームページにて公表されます。

## 寄付者・ボランティア紹介

コロナ禍におきまして、感染防止の観点から、大変恐縮ながらご寄付・ボランティアを多数お断りさせていただきました。

令和4年12月～令和5年2月 順不同・敬称略

【寄付】堀口耕治、まいまい、ゴルフドウ物流センター、Doing、株式会社乾月、HottoMotto、積和建設埼玉栃木(株)、喫茶 Mo'n増山晃一、笠井敏春、尾崎隆文、加島玲子、坂本将文、株式会社ヤマショウフーズ、株式会社毎日新聞社、明治安田生命川越営業所、長谷川裕、矢作隆、三菱UFJ銀行川越支店、パイオニア労働組合川越支部、齋藤明、中俣一夫、クドウアツシ、元山猛、公益財団法人毎日新聞東京社会事業団、イーリヤ・ブランカ、日本鏡餅組合、川越笠幡郵便局、フィリップモリスジャパン、諏訪正孝、鈴廣かまぼこ鈴木博晶、延命寺、友野由希子、大塚高明、川越ライオンズクラブ、子どもの未来を育てる会代表竹井博康、Oak キャピタル、河野直紀、三田泰紀、jai-fa 埼玉県協会、海保陽一、医療法人愛和会愛和病院、リラの会、オリーブの会、さいたま調査業協会、株式会社アステップ西内毅、川越優親会会長山口裕、倉野喜代子、有限会社アイワプランニング、霞ヶ関カンツリー倶楽部、日本キリスト教団川越教会、関本賢、日本スタンゲ、門司一徹、かわごえのおばあちゃん、全国シャンメリー協同組合、土井廣海、優里、MCM のめぐみ株式会社、ヤクルトグループ、埼玉県書店商業組合、ともいき、カーブス、一般社団法人日本出版クラブ、株式会社チュチュアンナ1%クラブ、匿名多数

【ひまわり学習ボランティア】 神山裕一、瓜谷玲子、小室敏夫、寺岡美雪、栗原麻衣子

【ダンス教室】Act The Family 【書道教室】 柳明雲

【スケートキャンプ】森田和治みなさま

【裁縫ボランティア】秋田かおる

【花植え・除草等環境整備作業】育児院サポートクラブ、海保陽一・永子

